

議会だより



中土佐町

No.78

令和7年8月25日発行

6月定例会

3月定例会第2回臨時会議



■ 6月定例会(通常会議) 2

■ 3月定例会(第2回臨時会議) 3

■ 一般質問(10人が町政を問う) 5

(表紙紹介は20ページ)

町に提言書を提出 少子化対策を提言する 決議を可決



池田町長に提言書を提出した中城議長と中土佐町少子化対策特別委員

令和7年6月定例会が5日に開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明などが行われました。
11日と12日は一般質問（5件から関連記事）が行われ、10人の議員が町の課題を執行部に問いました。17日には議案の審議が行われ、町長提出の議案11件を可決。少子化対策特別委員会提出の「町に対し少子化対策を提言する決議」を可決し、散会しました。
6月定例会の会期は、6月5日から8月31日までの88日間です。

6月定例会

令和7年 中土佐町議会

議案
審議

「町に対し少子化対策を提言する決議（案）」は、中土佐町少子化対策特別委員会から提出された。質疑では、2人の議員が調査の過程など委員長に説明を求めた。討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

決議は、本町の人口減少は少子化の進行により、今後も加速することが予想されることから、若者が住みたい、帰ってきたい町にするための5項目を町に対し、提言するものです。

町に対し少子化対策を提言する決議

記

平成18年1月に旧中土佐町と旧大野見村が合併し、現在の中土佐町ができた。合併当時の人口は8,699人で平成18年度の出生数は44人であったが、令和7年3月末の人口は5,738人で令和6年度の出生数は9人となっている。

中土佐町の人口減少は少子化の進行により、今後も加速することが予想され、労働力人口の減少、経済成長率の低下、地域の担い手不足など、地域での生活が成り立たなくなることが危惧される。

近い将来、町の存続、伝統文化の消滅になりかねない危機的状況の中、少子化対策は喫緊の最重要課題である。

中土佐町の現状は婚姻の減少、若い世代、特に女性の流出が多い状況である。『二十歳を祝う会』のアンケート調査では、結婚したい、子供が欲しいという意見が多くあるが、この町で生活するためには、住宅や仕事を求めている意見も多くある。

こういった状況を一刻も早く打開し、若者が住みたい、帰ってきたい町にするために下記の早期実現に向けて取り組まれるよう提言します。

1. 出合いの創出を図るために、町内のイベント・祭り・行事などに若者をボランティアとして募集することや、高知県が行っているマッチングアプリの活用を推奨すること。
2. 安心して子育てができるように、こどもセンターとファミリーサポートセンターの機能を充実させること。
3. 事前復興計画に基づき、安心して暮らせる高台整備を行うこと。
4. 若者のための住宅を整備すること。
5. カツオ産業などの一次産業の振興を図り、若者を呼び込み生活できる環境整備に努めること。

財産取得

「財産の取得について（中土佐町学習用コンピュータ等情報機器）」は、第2期GIGA（ギガ）スクール構想を見据え、小中学校に導入するタブレット端末を取得するもの。
プロポーザル審査の結果、四国情報管理センター（株）と3998万7200円で随意契約する。質疑では、1人の議員

が導入する機器の選定理由など執行部に説明を求めた。

討論では、1人の議員が反対討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決された。

GIGA（ギガ）スクール構想
教育ICT（アイシーティ）環境の充実を図り、教員や児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指す取り組み。

ICT教育
アナログだった学習をデジタルで行う学習活動のこと。

一般会計補正予算

「令和7年度中土佐町一般会計補正予算（第2号）について」は、547万円を追加し、一般会計の歳入歳出の総額を70億7553万円とするもの。主な予算は、職員の人事異動に伴う人件費の調整など。
質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

指定管理者の指定

「指定管理者の指定について（中土佐町立集出荷施設）」は、久礼にある集出荷施設の指定管理者を、土佐くろしお農業協同組合とするもの。期間は、令和12年3月31日までの5年以内とする。
質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

指定管理者の指定

「指定管理者の指定について（中土佐町立上ノ加江農業構造改善センター）」は、土佐くろしお農業協同組合を指定管理者として指定とするもの。期間は、令和12年3月31日までの5年以内とする。
質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

令和7年 中土佐町議会
3月定例会

第2回臨時会議

案議
議審

専決処分（令和6年度一般会計予算）

「専決処分の報告について（令和6年度中土佐町一般会計補正予算第10号）」は、決算及び予算の繰り越しを見込んだ予算の調整を行い、一般会計の歳入歳出を6065万円減額し、予算の総額を77億5421万円とするもの。

財産無償貸付

質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

反対討論

更新には賛成だが、計画は一度立ち止まり検討が必要だ。

導入するパソコンは1台10万8460円と高い。他町では同じHP社製で外見も性能もほぼ同じものを半分以上の5万2250円で導入する。本町は倍以上の値段になっている。高い原因はパソコンにSIMを内蔵しWiFi環境のない所でも使える仕様にしたためだ。授業で使うパ

ソコンは、学校と家庭で使うもので、ここがWiFiを備えていればSIMは必要ない。SIM内蔵パソコンはどこでもいつでも使えるようになり、学校備品から外れた使われ方も可能になるが、保護者と相談はしていない。

件だが、果たしてパソコンが5年間持つか疑問だ。本町で使っているパソコンは令和3年度に導入したものが、3年余りで更新が必要になった。小中学生が持ち運びして使うことで、故障率も高い。5年間の通信費が無駄になる可能性もあるが、議会側への説明は一度もなかった。

令和7年度一般会計補正予算

「令和7年度中土佐町一般会計補正予算（第1号）について」は、943万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算の総額を70億7006万円とするもの。主な予算は、黒潮本

「財産の無償貸付について」は、大野見小学校敷地内にある、旧中土佐町学校給食センターを、JA高知県女性部四十地区大野見支部に無償貸与するもの。貸付期間は、5年間となる。

質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

町出資法人の経営状況の報告

地方自治法により、町から2分の1以上の出資や財政的支援を受けている法人等は、議会に経営状況の報告が必要とされています。

この規定により6月定例会の初日、町長から道の

駅を運営する㈱SEAプロジェクト（町出資80%）、黒潮本陣を運営する㈱中土佐町地域振興公社（町出資100%）の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間の経営状況の報告が行われました。

㈱SEAプロジェクト

売上高	8634万円
⊖売上原価	2884万円
売上総利益	5750万円
⊖販売費・一般管理費	6025万円
営業損失	275万円
⊕営業外収益	219万円
⊖営業外費用	0万円
経常損失	56万円
⊖税	7万円
当期純損失	63万円

【主な収入】

●テナント管理収入	1051万円
●販売手数料	2100万円
●店舗売上	4572万円
●町の指定管理料	909万円

【主な支出】

●人件費（給与）	2855万円
●修繕費	137万円
●水道光熱費	615万円
●管理諸費	686万円

～設立後、初めての赤字決算～

当期収入は前期を上回っているものの、人件費や修繕費など支出が増えたことにより、設立して初めて63万円の赤字決算となっている。収入には、町の指定管理料も含まれている。修繕などの突発的な支出は今後も予想される。さらなる売上の向上や支出を抑制する工夫が求められる。



休日には多くの方が来場する道の駅なかとさ

㈱中土佐町地域振興公社

売上高	2億2108万円
⊖売上原価	4936万円
売上総利益	1億7172万円
⊖販売費・一般管理費	1億7407万円
営業損失	235万円
⊕営業外収益	112万円
⊖営業外費用	21万円
経常損失	144万円
特別利益	0万円
特別損失	0万円
⊖税	18万円
当期純損失	162万円

～美術館を契機に集客努力を～

【主な収入】

●宿泊料	14982万円
●会食売上料	1166万円
●レストラン売上	1177万円
●温泉	1592万円
●黒潮工房	2764万円

【主な支出】

●人件費	9367万円
●福利厚生費	1772万円
●運営管理費	6259万円
●原材料費	4936万円



黒潮本陣（左）と なかとさ美術館

前年のリニューアルの年に比べて、利用人数は減少し、売上も3460万円減少している。要因には、地震に伴う臨時情報の発表や台風によるキャンセル、諸物価高騰による集客の低下がある。令和7年度は美術館がオープンする。このことを契機に集客数を向上させる努力が求められる。

10人の議員が一般質問



中野 大地 ……P6

- 久礼学童保育の利用状況は
- ファミサポの現状は



山本 建生 ……P7

- 津波から高台避難はできるか
- 常会の加入率が6割程度だが



金子 裕之 ……P8

- 親子の広場を住民の憩いの場に活用しては
- 町内の若者が町内で就職しやすい支援は



佐竹 敏彦 ……P9

- 新美術館のパンフに寄贈者の思いを載せては
- 道の駅の経済効果は



下元 道夫 ……P10

- 南海トラフ地震に対する取り組みは
- 笹場川改修工事の計画は



下元 良之 ……P11

- 役場業務の効率化は
- 水道事業の現状は



窪田 和教 ……P12

- 公共施設や中学校の女子トイレに生理用品配備を
- 車中泊可能な道の駅にしてはどうか



高橋 雄造 ……P13

- おかう橋伝承の看板を
- EV車の充電設備の整備は



濱田 和昭 ……P14

- 開業を目的とした空き家改修補助金は
- ラジオ受信感度が悪い、災害時に必要では



福永 守恭 ……P15

- 県道19号の未整備区間の維持管理は
- 農業政策の課題は

一般質問

町政を問う

6月11日と12日の2日間、一般質問が行われ、10人の議員が防災、教育、産業など町の諸問題を取り上げました。

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

※掲載する「一般質問」は、議員の責任で質問・答弁を750字以内にまとめたものです。



各議員のページにあるQRコードで、その議員のインターネット中継をご覧ください。ご覧になれる場合は、データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

久礼学童保育の利用状況は

登録児童87人、
1日の平均利用児童36人



中野大地



中野議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



問久礼学童保育の利用状況は。

津野教育次長 令和7年4月1日現在で、87人の登録がある。1日の平均利用児童は、令和6年度実績で36人となっている。

問何人体制で運営しているのか。また、人材確保や定着率は。待遇改善や育成に向けた取り組み、研修制度などは。

津野教育次長 7人で運営している。現在のところ定着率も良く、安定した雇用ができており、人材確保はできている。令和6年度の実績で、1人当たり月額最大1万1000円の加算がされている。研修制度は、事業資質向上研修や発達障害の理解促進研修会などがあり、職員は参加している。



学童保育は久礼小学校北舎の東端1階に入る予定

問学童保育が小学校に移転する時期は。

津野教育次長 令和7年9月頃を予定している。

問学童保育が小学校内施設に移ったときの保護者の迎えは。

津野教育次長 基本的には、小学校まで上がったて来てもらうようになる想定している。

ファミサポの現状は

業者に委託し4月開設

問4月から開設したファミサポの現状は。

辻本健康福祉課長 上ノ加江集学校に委託していたが、3月下旬に人員が確保できないということで辞退の申し出があった。急きょ町内のみやび電工さんに委託し、4月1日から事業を開始した。

問ファミサポを開設するに当たり、どのような目標値を定めているか。

辻本健康福祉課長 年度末の会員数が、提供会員、依頼会員を合わせて20人以上で事業の補助金対象になるので当面20人を目標にしている。さらに50人以上で補助金が増額されるので、最終的に50人以上は集めたい。

中大坂用水路対策

問中大坂の田役で取水口や水路を掃除しているが、大雨や台風などで川



大雨や台風などで川が増水するたびに水路が土砂でふさがる用水路（久礼中大坂）

が増水するたびに土砂でふさがれてしまう。根本的な対策はないか。

小松建設課長 6月5日の県の移動土木会議で取水口付近を含んだ河川のしゅんせつを要望した。

津波から高台避難はできるか

距離、歩行速度を考慮できると判断

問 南海トラフ地震時の津波到達時間と津波高は、また、久礼、上ノ加江、矢井賀の津波滞留の想定は。

ない場所もある。

問 避難場所は高い所にあるが、それぞれの地域で避難できることになっているか。

おり、避難できると考えている。

問 地震は、発生時間や季節など違いがある。夜間や土日などいろいろな場面を想定したプランを持っているか。

山崎総務課長 危機管理室は久礼地区に近い職員を多めに配置している。危機管理室を中心に一定期間は参集できる職員で対応していく。

山崎総務課長 曜日であったり、時間帯によって参集が困難なことを予想して、初動時のマニュアルを用意している。さらに研究を深めていく。

山崎総務課長 場所によって時間差があるが、久礼市街地の低い場所です15分程度だ。全域には20分から30分で高さ10メートル程度の津波が到達する。本町には津波浸水が長期に引か

山崎総務課長 津波の到達時間を地区ごとに分析している。避難場所への距離と歩く速度を分析して

問 地震発生時に災害対策本部を設置するが、職員の4割は町外居住のほか、上ノ加江、大野見の職員も来ることができない。初動人数は2、3割になる。それを踏まえた体制になっているか。



山本 建生



山本議員の録画映像は
こちらから



津波による浸水が想定される地域（久礼）



津波による浸水が想定される地域（上ノ加江）

常会の加入率が6割程度だが

地域づくりに大きな役割

問 常会の加入率は6割程度だが、常会の役割は。

江崎まちづくり課長 地域の皆さんの支え合いだったり、防災、環境美化など地域づくりのために重要な役割を果たしていると認識している。ただ、任意団体なので強制できない。

問 常会に加入しない原因と、入ってもらうための対策は。

江崎まちづくり課長 地域コミュニティの希薄化が原因と思われる。町営住宅入居者には協力依頼をしている。

問 加入していない人に広報を読んでもらう工夫は。

山崎総務課長 役場庁舎や上ノ加江支所、大野見振興局に一定数の余分があるほか、マルナカにも置いてある。

親子の広場を住民の憩いの場に活用しては



金子裕之



金子議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



地域住民の意見を聞く



親子の広場「もりあげパーク」が開設されている旧いちかわ文具店。入り口には子どもたちの絵が飾られている。

問 親子の広場「もりあげパーク」の開設経緯、利用者数、利用者のニーズは。

辻本健康福祉課長 親子が遊べる屋内施設が欲しいという意見を受けて開設した。昨年10月から12月の3カ月間の利用者は、86組203人だ。子どもが遊べるスペースがあることや利便性も高いこと、地域活性化という点でも地元の要望もあることで継続して開設することにした。

問 親子の広場の場所を住民の憩いの場として、直販所や買い物支援ができる場所にして活用しては。

辻本健康福祉課長 まずはこの1年、様子を見ながら、地域住民の意見を聞いて検討していきたい。
問 今後、施設を活用するにあたり、トイレなどの改修は。
辻本健康福祉課長 今後の利用状況を見て、施設整備の判断をしていく。

町内の若者が町内で就職しやすい支援は

中長期的な戦略が必要だ

問 遠距離通勤支援補助金の条件にある35km以上の根拠と予定人数は。

江崎まちづくり課長 通勤時間が片道45分を超える

とストレスを感じるという調査結果を基に、距離に換算して決めた。ストレスを緩和するコストの一部を町が負担することで定住を促進する。人数は、国勢調査を基に20人を見込んでいる。

問 こういった政策は、お金のある自治体が有利に働くと思うが。

池田町長 全国で自治体間競争をやっている。うちの町に住んで、子どもを産み育てていただく政策の充実を図っていく。

問 町内の事業所は人手不足や後継者不足に苦しんでいる。町内の若者が町内で就職しやすい支援も必要では。

江崎まちづくり課長 中長

期的視点で人材定着、育成、移住促進の戦略が必要だ。昨年から地域おこし協力隊の団体委託型も導入した。持続可能な地域経済の構築に向けて検討していく。

その他の質問

▼災害協定を結んでい
るムービングハウス

中土佐町遠距離通勤支援補助金

町内在住で、町外に通勤する方に対し支援金(月額5千円)を給付します。

おもな補助要件

- ①町内の住居から中土佐町役場を起点とし35km以上遠方の町外に通勤する者で月10日以上通勤している者。(住居が上ノ加江・矢井賀・大野見の方は1,000円上乗せで給付します)
- ②補償申請年度の4月1日時点の年齢が35歳未満であること。
- ③雇用保険の適用事業所に常時雇用されていること。
- ④生活保護を受給していない者。
- ⑤補償対象者及び補助対象者の属する世帯全員に町税及び使用料の滞納がないこと。

申請期間

補助対象期間の翌年1月1日から2月15日まで(令和8年1月1日から令和8年2月15日まで)。
※令和7年1月1日から令和7年12月31日までの通勤に対して支援します。

遠距離通勤支援補助金の要件(広報なかとさ5月号掲載記事)



佐竹敏彦



佐竹議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから

問 美術館の建物と、収蔵品の多くは故町田菊一さんの寄贈によるものだということを知らない人も結構いる。町田さんは、大企業の幹部と付き合う中で、仕事の話だけではだめだ。文化的素養や見識がないと対等な付き合いができないと気づき、町民の芸術文化の意識高揚になればと寄贈された。この言葉や思いを込めたパンフを。

新美術館のパンフに寄贈者の思いを載せては

思いは入れていく

岡村教育長 新美術館の紹介パンフに町田さんの思いは入れていく。

問 新美術館で収蔵している有名な人の作品展はどうか、観光にもなる。

岡村教育長 展示替えしながら、たくさん作品に触れてもらう機会をつくり、国内外の著名な作家の作品展も開催したい。オープン当初は、町田コレクション展をする。

問 柴田外記朝意の父は、上ノ加江城主の佐竹親直で、母は長宗我部元親三女阿古姫だ。上ノ加江にゆかりのある柴田外記朝意のよろいかぶとが宮城県柴田町にある。かぶとは明珍信家の作で、よろ

いも格式が高く保存状態

も良い。美術館で展示できないか。

岡村教育長 博物館のような展示ケースがなく、熟知した職員もいない。本町美術館では難しい。県立レベルであれば可能ではないか。



宮城県柴田町指定文化財の柴田外記着用のよろいかぶと
(しばたの郷土館蔵)



棟方志功作「御黒遍牛」(町立美術館所蔵)

道の駅の経済効果は

1000万円の2.5倍以上の効果がある

問 道の駅なかとさの経済効果、雇用評価は。

江崎まちづくり課長 令和3年度に県が公表した、本町の総生産額138億8500万円に対し、道の駅の売り上げは約2億6600万円だ。雇用はマルシェ16人を含めて51人だ。

竹崎副町長 指定管理料1000万円に対し、マルシェだけでも約2600



その他の質問

- 市町村の枠組み
- 水道と対策
- 一次産業と高知大学との連携
- 上ノ加江のスーパー閉店と地域活性化対策

万円と、2.5倍以上の人員費が地元還元され、地域振興の施設としての役割を十分果たしている。

南海トラフ地震に対する取り組みは



下元 道典



下元議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



道路の閉塞は防げない

問 南海トラフ地震での死者の多くは津波によるものと予想されている。とにかく逃げることの周知が大事だ。避難重点路線の状況は。

山崎総務課長 建物の倒壊などによる道路の閉塞は完全には防げない。

問 特に高齢者は、2基の避難タワーに逃げると考えられる。雨風、寒さ対策はできているか。

山崎総務課長 タワーに備えているブルーシートで雨・風を防いでいた。寒さ対策に良い資材があれば導入したい。

問 地震の臨時情報が発令された場合、旧中土佐地区の避難所は満杯になる。高齢者などは大野見に避難してもらうというところだったが、周知されているか。



雨、風、寒さに避難者は耐えられるか
(久礼地区の避難タワー)

山崎総務課長 臨時情報は、注意と警戒で対応が変わる。警戒の場合、大野見地区への避難も検討する。事前に周知をしていく。

問 訓練で、避難所用テントを設置し、中に入って体験した。テント設置で避難所の収容人数が減ると思うが。

山崎総務課長 テントは1200人超を収容できる数を揃えている。最大2割程度減る予想だ。

笹場川改修工事の計画は

改修が必要な箇所があれば協議する

問 笹場川の部分改修と下流の土砂撤去計画の説明会が行われた。地区から人命と家屋への被害がないように改修してほしいとの要望が出されたが。

小松建設課長 笹場川の合流地点で支流を改良し、下流部のしゅんせつを行う。住宅がある区間は、護岸上部にコンクリート壁を設けて下流に延ばすよう、検討している。

問 二つの橋が障害になり、越流の危険性がある。今後状況に応じて工事の検討は。



笹場川に架かる2本の橋、令和4年のような豪雨になると越流する危険がある

小松建設課長 令和4年並みの豪雨があった場合に橋による越流の危険性は当然ある。改修が必要な

箇所が出た場合は、協議させていただく。

農業災害の耕作者負担は

問 農業災害の耕作者負担、特に激甚災害のような場合の負担は。

黒岩農林水産課長 今後、災害が激甚化となった場合は、他の自治体の動向も見ながら検討する。

役場業務の効率化は

デジタル化を進めている

問 役場業務のデジタル化の状況は。

竹崎副町長 財務管理や文書管理などでデジタル化による業務の効率化を図っている。住民サービスでは、引越越しワンスでは、引越越しワンストップサービスや子育て、介護などの各種手続きのオンライン化を図るとともに、リモットペイを活用したキャッシュレス化などに取り組んでいる。

問 今後のICT（情報通信技術）の活用案は。

竹崎副町長 本年度は、電子契約システムの導入を予定している。これにより、契約業務に係るコンプライアンス強化や、コスト削減および効率化を図る。

問 限られた人員で質の高い住民サービスを提供するための組織づくりの考え方は。

竹崎副町長 業務の増加と多様化は続き、高度で複雑な業務を分担しなければならぬ。組織体制を見直すに当たっては、デジタル化に期待しすぎず、職員数や能力、事情に配慮するとともに、業務量の低減を検討する。

下元良之



下元議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから

水道事業の現状は

課題について計画を見直す

問 水道管の老朽化率と漏水状況は。

下元町民環境課長 全管路における老朽化率が51・2%。漏水割合は43・1%となっている。

問 今後は使用量が減り、収入減が予想される。修繕費の検討は。

下元町民環境課長 料金収入は毎年2%ほど減少している。運転経費を削減



大野見久万秋簡易水道施設

し、経営計画を見直していく。経営努力で賄えない部分は、利用者の負担もお願いしなければならぬ。

問 水源や浄水施設でトラブルが発生し、水質に異常が出た際の情報伝達や飲料水の支給体制は。

下元町民環境課長 情報伝達は、防災情報伝達システムによる周知になるが、さらに正確に伝えるよう努める。飲料水の供給も、公平性を高めるよう検討する。

県道の維持管理を県に要請を

問 久万秋や吉野跡川地区で、落石や倒木の恐れがあるほか、水たまり、雑木の枝の垂れ下がりなどの

危険な箇所がある。県に対策を要請できないか。

小松建設課長 6月に須崎土木事務所との会議があり、その場でも早期の対応を強く要望した。



用水路から県道に水があふれている
(大野見久万秋)



倒木の恐れのある松の枯れ木
(大野見吉野)

公共施設や中学校の女子トイレに 生理用品配備を



窪田 和教



窪田議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



考えていない



トイレに置かれている生理用品

問 生理の問題を女性だけの問題でなく、社会全体で女性の健康と尊厳を守ろうという取り組みが国や自治体で始まっている。本町の取り組みと併せて、国や他の自治体の取り組みの受け止めは。

辻本健康福祉課長 理念はすばらしいが、町の生活困窮者は生理用品より食料や生活用品を必要とする人が多い。

問 内閣府は「生理にかかると地方公共団体の取り組み」の全国調査をしている。過半数の92.6自治体で生理用品の無償配布が行われ、自治体庁舎の

女子トイレに誰でも使えるよう常設している所もある。すぐやれとは言わないが検討すべきだ。

岡村教育長 今まで検討していなかったし、今のところ考えていない。

問 日本女性の初潮年齢は12.2歳で、小学6年生の年齢だ。全国298自治体で学校の女子トイレに生理用品を常備し自由に使えるようにしている。梶原町も実施している。トイレに生理用品を置くことをどう考えるか。

岡村教育長 保健室に置いており全然問題はない。

車中泊可能な道の駅にしてはどうか

計画を持っていない

問 車中泊ができることをホームページで紹介する道の駅もある。本町の道の駅は2km範囲でコンビニ、ガソリンスタンド、温泉などがある。これらへの波及効果が期待できる。

江崎まちづくり課長 車中泊可能な環境整備の計画は持っていない。

問 6月5日には岩手、三重、愛媛、福岡、宮崎、大分ナンバーが停まっていた。現実には車中泊がある。この人たちにSNSで発信してもらえば利用が広がるが。

江崎まちづくり課長 直ちに宿泊可能な場所にするのは難しい。

大野見小中学校のプール開放は

用に合わせて開放できないか。

問 かつて大野見小中学校のプールを一般に開放していた。学校のプール利用

岡村教育長 再開にはクリアする課題が多い。



県外からの来客も多い道の駅なかとさ

おかう橋伝承の看板を

関係者の意見を聞く

問 2000年ほど前に大野見島ノ川にせきを造るとき、13歳のおかうさんが人柱になった。地区の人は慰霊のために地蔵をつくり今も祭っている。近くの橋は地元の要望でおかう橋と名付けられた。歴史を伝承するために橋の近くに看板を立てることはできないか。

岡村教育長 これまで、おかうせきとか、おかう地蔵について検討した記録

はないが、文化財保護委員会や各委員の意見を聞き検討したい。



高橋雄造



高橋議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから



大野見奈路川口から折野々間に架かる「おかう橋」とおかう地蔵（右）



EV車の充電設備の整備は

慎重に検討する

問 EV車を使用している方から、利便性の面から充電施設の有無を聞かれることがある。町内で私的・公的に充電できる施設はあるか。

山崎総務課長 私的な施設は把握していない。公的な施設は町内にない。

問 EV車を公用車として活用している自治体があるが、本町でも検討する余地はないか。

山崎総務課長 EV車所有に先んじて充電施設を整備しなくてはいけないが、現在のところ施設を整備する考えはない。今後、十分に検討した上で考えていきたい。

空き地の活用

問 空き地は今後増えると思われるが、行政として

活用するとすれば、どのような取り組みがあるか。

山崎総務課長 明確な活用策は現在町として持ち合わせていない。法律の委任に基づかない自主条例を必要となれば検討していく。

その他の質問

▼ 水道管の管理状態と現状



須崎市役所にある公設のEV充電器

開業を目的とした空き家 改修補助金は

該当する補助金はない



濱田 和昭



濱田議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



問 移住相談窓口にて、移住し、店舗開業をしたいと言った問い合わせもあると聞くが、物件相談の件数は。

江崎まちづくり課長 年間10件程度ある。

問 店舗開業に対応できる補助金はあるか。

江崎まちづくり課長 町単独事業と県の補助制度を併用しながら支援をしている。中土佐町空き店舗活用推進事業補助金は、空き店舗利活用のため、改修や解体、店舗兼住宅の店舗部分と住宅部分の機能分離に係る費用などが対象になる。

問 町内の商圈や観光客は一定の場所に集中している。それ以外の場所では開業するために、店舗ではない空き家を改修して開業したいという熱意を持った方のサポートを行政はしていくべきではないか。これに対応する補助制度は。



活用できそうな古民家

江崎まちづくり課長 現時点ではないが、必要性は認識している。将来的に補助制度の創設を検討したい。

問 町独自に新規事業をサポートをしていく考えは。

池田町長 本町にも住宅を店舗に改装した事例があるが、これまで補助金はない。まちづくり課を中心に財政とも相談しながら有効な補助制度を探っていく。

ラジオ受信感度が悪い、災害時に必要では

避難所は高性能ラジオで対策している

問 久礼地区はラジオの受信感度が悪い。災害時には必要不可欠なツールだが、現状をどう把握しているか。

山崎総務課長 以前から状況を把握している。利用見込みが高い避難所は受信調査を行い、高性能ラジオを導入し対策している。

問 民間ラジオ会社に受信感度について相談は。

山崎総務課長 相談した経緯はあるが、費用面で実現しなかった。

問 民間ラジオ会社に再度強く要望することは可能か。

池田町長 受信感度が悪いことは、以前からの懸念事項で会社には多方面の要望をしているが厳しい。

い。各避難所ではしっかりと情報を取れるような対策をしていく。



防災時に必要なラジオ

県道19号の未整備区間の維持管理は

調査測量の予算を要望してもらっている

問 県道19号窪川・船戸線の竹原から野老野までは、未整備区間になっている。改良工事の予定がないなら維持管理を行い、安心して通行できるように須崎土木事務所に要望できないか。

認をして調査測量の実施に向けて、予算要望を行っている」と聞いている。

池田町長 須崎土木事務所の所管であり、早めに対応してもらえんと思っている。

小松建設課長 一部区間では、防災総点検を行っている。危険な区間は、防災事業の実施のために調査測量を行う計画がある。今年の3月に現地確認。

は、防災総点検を行っている。危険な区間は、防災事業の実施のために調査測量を行う計画がある。今年の3月に現地確認。



福永守恭



福永議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから



路線バスが通ると道幅いっぱいになるほど道路が狭い（大野見竹原）



峠の入り口に設置された看板（大野見竹原）

農業政策の課題は

新たな担い手の確保だ

問 農地の将来的な利用方針を定める地域計画の策定に先立ち、令和6年3月に行った、「今後の農地利用に関するアンケート調査」の回答で、規模拡大をしたいと答えた方と、規模縮小または離農したいと答えた方の割合は。

黒石農林水産課長 規模拡大と回答した方は、25

1人中14人5・6%で、規模縮小と回答した方は15人6%だ。離農したいと回答した方は6人2・

4%という結果になった。

問 意向調査で、今後本町で進める農業政策の課題として見えてきたものがあるか。

黒石農林水産課長 未回答不明が97人38・6%あった。一定数が先行きに不安を感じており、今後引



きれいに植えられた苗に初夏の風が流れるが、10年後の耕作はだれが担うか

その他の質問

▼町営住宅

委員会活動報告

6月定例会の初日、産業建設民生常任委員長から、委員会の活動報告がありました。

産業建設民生常任委員会

食品、衣料品の小売業は、合併当時は町全体で、134の業者数であったが、令和6年度では71業者で、ほぼ半減している。

人口減少による業績不振と、事業者の高齢化による後継者不足などが原因で急減している。そのため、食料品や生活必需品などの買い物が困難な買い物弱者が増えている。

対策として注文に応じられる移動販売の活用、高齢者向けのネット通販や宅配サービスの普及などが考えられる。四万十源流の里は、利用者数が年間3300人前後で推移しており安定している。施設は開業後34年を経過し、老朽化が進んでいる。町の負担する修繕費も増えており、今後の大きな修繕や、契約終了後には慎重に検討する必要がある。

小売業者は激減、買い物弱者も増加 町の商業と四万十源流の里を調査



担当課から聞き取りを行う産業建設民生常任委員
(4月18日)

令和6年度一般会計決算見込み 実質収支は2億1677万円

池田町長の行政報告

●令和6年度一般会計決算見込み

一般会計の実質収支は2億1677万円だ。うち1億1000万円を減債基金に積み立て、残りを令和7年度に繰り越す。基金残高は、48億2609万円となる見込みだ。

●^{にいなめ}新嘗祭の献穀米選出

高知県代表として大野見久万秋、西岡英男氏が本町から16年ぶりに選出された。10月下旬に皇居の献納式で献上される予定だ。

●団体委託型地域おこし協力隊

町内企業・団体に雇用できる「団体委託型」の運用を開始した。4月から3人が着任し、5月末までに3人が内示を受け順次着任する予定だ。

●地方自治体実地体験

新任の国家公務員の行政研修として、中央省庁より4人の研修生が本町に派遣され、地方自治体が担う広範な業務を体験、研修する。

●かつお祭

「かつお祭ウィークス」として、「本祭・かつお祭」、「久礼大正町市場かつお祭」・「昼も夜も！町なかかつお祭」を17日間開催した。限定メニューや割引サービスなどで、初ガツオを楽しんでいただいた。

●道の駅なかとさ来場者数200万人突破

5月30日、レジ通過客数が200万人を達成した。今後も、観光・産業振興のさらなる飛躍を目指し、関係者一丸となって町の魅力発信、交流人口の増加、雇用機会の創出、経済波及の実現に努める。



6月定例会で行政報告をする池田町長

私は、賛成・反対しました。

賛否の分かれた議案

審議した議案等	窪田和教	岡伊三男	下元良之	福永守恭	金子裕之	濱田和昭	下元道夫	山本建生	中野大地	佐竹敏彦	高橋雄造	中城重則	結果
【6月定例会 議案】													
議案第43号 財産の取得について（中土佐町学習者用コンピュータ等情報機器）	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決

○・・・賛成 ●・・・反対 / 議長は賛否同数の時や特別多数議決の時に賛否を表明します

全会一致の議案

【3月定例会第2回臨時会議 議案】	結果
議案第33号 財産の無償貸付について ※地方自治法117条の規定により福永守恭議員 除斥	可決
議案第34号 令和7年度中土佐町一般会計補正予算（第1号）について	可決

除斥とは…議題となる事件と一定の利害関係を有する議員について、審議の公正を期するため、当該事件の審議に参加することができないこととする制度です。

【6月定例会 議案】	結果
議案第35号 指定管理者の指定について（中土佐町立集出荷施設）	可決
議案第36号 指定管理者の指定について（中土佐町立上ノ加江農業構造改善センター）	可決
議案第37号 中土佐町税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第38号 中土佐町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第39号 中土佐町附属機関設置条例の一部を改正する条例について	可決
議案第40号 中土佐町障害者社会参加促進施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可決
議案第41号 中土佐町こどもセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第42号 中土佐町事前復興まちづくり計画策定委員会設置条例について	可決
議案第44号 令和7年度中土佐町一般会計補正予算（第2号）について	可決
議案第45号 中土佐町非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
発委第2号 町に対し少子化対策を提言する決議（案）	可決

Q 議員は何をしゅうが？

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況（令和7年4月～6月）》

日 付 ・ 会 議 等		議 員 名											
		窪田 和教	岡 伊三男	下元 良之	福永 守恭	金子 裕之	濱田 和昭	下元 道夫	山本 建生	中野 大地	佐竹 敏彦	高橋 雄造	中城 重則
4月3日	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		○	○			
4月10日	少子化対策特別委員会		○	○		○	○			○	○		
4月11日	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		△	○			○
4月18日	産業建設民生常任委員会		○	○	○	○		○			○		
4月21日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月24日	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		○	○			
4月30日	議会運営委員会	○		○			○				○	○	
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月定例会第2回臨時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月8日	少子化対策特別委員会		○	○		○	○			○	○		
5月29日	少子化対策特別委員会		○	○		○	○			○	○		
6月3日	議会運営委員会	○		○			○				○	○	
6月5日	6月定例会通常会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		○	○			
6月11日	6月定例会通常会議（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月12日	6月定例会通常会議（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設民生常任委員会		○	○	○	○		○			○		
6月17日	6月定例会通常会議（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会	○					○		○			○	○
6月24日	少子化対策特別委員会		○	○		○	○			●	○		

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 /・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。



議会だよりの編集作業をする広報広聴常任委員

議会広報に対する ご意見を募集しています

ご感想など500字以内で
お寄せください。

〒789-1301 中土佐町久礼6663-1

TEL 0889-52-2410 FAX 0889-52-4850

E-mail gikaijimu@town.nakatosal.jp

《議長の主な活動状況（令和7年4月～6月）》

● 4月

- 21日 須崎地区地域安全協会監査
- 27日 大野見北地区振興会通常総会

● 5月

- 7日 四国土砂防災ネットワーク議員連盟合同役員会（徳島県／三好市役所）
- 12日 道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会通常総会、道路整備促進高知県大会（高知市／城西館）
平和大行進【副議長】
- 15日 高幡町村議会議長会定期総会
- 18日 かつお大漁祈願並びに感謝供養祭【正・副議長】
- 22日 須崎地区地域安全協会総会（須崎市／須崎警察署）
- 25日 新嘗祭献穀中土佐町田植祭
- 27日 町村議会議長・副議長研修会【正・副議長】（東京都／東京国際フォーラム）

● 6月

- 5日 令和7年度移動土木会議
- 20日 高知県町村議会議長会理事会（高知市／高知県自治会館）
中土佐分署査察車の贈呈式並びに入魂式
- 25日 高知県町村議会議長会臨時総会（高知市／高知県自治会館）



かつお大漁祈願祭並びに感謝供養祭
に出席する中城議長、高橋副議長
（5月18日）



新嘗祭献穀中土佐町田植祭に出席
する中城議長（5月25日）



中土佐分署査察車の贈呈式並びに入
魂式に出席する中城議長（6月20日）

議員出張懇談会

10人程度の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。希望がある場合は、懇談内容のテーマなどについて、事前に事務局までお問い合わせください。

※懇談会には、全議員が参加いたしますが、テーマや時期によって全議員が参加できない場合があります。

議会事務局

TEL 0889-52-2410

FAX 0889-52-4850

E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp



今年度の「議会だより」の表紙写真のテーマは「町でがんばる人たち」です。

観光列車のおもてなし活動をしている「久礼おせっ隊」の吉井太一さん、和恵さんご夫婦、多田和子さんにお話を伺いました。

1 いつから活動していますか。

2020年7月4日から観光列車の「志国土佐時代の夜明けのものたり」の運行が始まった時からです。



2 活動している人数は。

現在、観光協会の3人と和食・宴あずまの2人など合わせて11人です。平日の運行時は役場職員も役場テラスから旗を振って歓迎しています。

3 活動を始めたきっかけは。

もともと列車が好きで、観光協会の田中代表理事に声をかけていただいたことがきっかけです。

4 活動の魅力は。

お客様やアテンダントさん、JRの職員さんとの出会いや皆さんの笑顔です。

5 どのようなことを心がけていますか。

おもてなしの気持ちで、町内の魅力を発信することです。

6 今後の活動に希望や悩みはありますか。

参加してくれる人数が少ないときもあるので、たくさんの方に直接土佐久礼駅に来ていただき、多くのお客様と出会い、交流してほしいです。

7 これからの目標は。

列車内からの笑顔がある限り、おもてなし文化あふれるこの活動を仲間と続けていきたいです。

(吉井太一さん)

これまで800回参加してきたので、1000回まではがんばろうと思います。(多田和子さん)



左から太一さん、和恵さん、和子さん

【現在の観光列車の運行ダイヤ】

	土佐久礼駅着	土佐久礼駅発
下り	12:04	12:11
上り	13:34	13:50

※土・日・祝日に運行



「天災は忘れられたる頃来る」寺田寅彦の有名な警句だが、天災に限らず、仕事や、車の運転などでも、油断や慢心により、注意を怠り、事故やトラブルを起こすことがある。時には人生が変わってしまうような、取り返しのない災難も起こりえる。

そうと分かっている、つい不注意で、つまらないうっかりミスを繰り返している。過度に失敗を恐れる必要はないと思うが、大きな災いは避けたいものだ。

寺田寅彦の先祖である宇賀家の墓は、わが町にあり、寅彦のルーツとも言える。そういう縁からも、冒頭の警句を頭の隅に置き、油断やおごりから来る難から逃れる、お守りとしていきたいと思っている。

忘れなければ、ではあるが。

下元 良之

中土佐町議会広報広聴常任委員会

委員長	窪田 和教
副委員長	山本 建生
委員	下元 良之
委員	金子 裕之
委員	濱田 和昭
委員	中野 大地